



共同プレスリリース



2018年2月26日

ANA と NCA による戦略的業務提携の合意

～日本の産業発展に継続的に確かな貢献を果たす航空貨物パートナーシップの実現にむけて～

全日本空輸株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：平子裕志、以下 ANA）と日本貨物航空株式会社（本社：千葉県成田市、代表取締役社長：坂本深、以下 NCA）は、両社のサービス向上と企業価値を高めるために戦略的業務提携を行うことについて覚書を締結致しました。

これまで実施してきた連帯運送（インターライン）契約に加え、両社運航便での共同運航（コードシェア）契約^(注)を締結し、両社の航空貨物スペースをこれまで以上に有効活用し、より広範なネットワークを高い輸送品質でお客様に提供して参ります。

さらに、ANA が運航するボーイング 767 型貨物機、および今後導入を予定しているボーイング 777 型大型貨物機と、NCA が運航するボーイング 747 型貨物機による円滑な接続輸送など貨物専用機ならではのサービスの実現を目指します。本邦航空会社同士の提携により、世界に広がるお客様の要望にお応えするためグローバルな大型航空貨物輸送ネットワークを提供して参ります。

(注) 関係国政府の認可を条件とします。

《提携開始時期》

- 2018 年度上期中

《主な提携の内容（予定を含む）》

- 両社運航便での共同運航（コードシェア）
 - ・主に NCA が就航する欧米線などの貨物便に対する ANA 便名の付与や、ANA が就航する中国・アジア路線の貨物便・旅客便（貨物スペース）に対する NCA 便名の付与を世界的に展開。
 - ・今後 ANA が導入する大型貨物機と NCA 運航便との共同運航によるシナジー効果の発揮
- 両社運航便での連帯運送（インターライン）の拡大
 - ・NCA 運航便に対する ANA による貨物スペースの買取（＝ブロックスペース）、および ANA 運航便に対する NCA による貨物スペースの買取。
- 航空機整備部門における業務協力
 - ・ANA 整備士の NCA への派遣や整備に関するナレッジの共有など。

ANA とは

1952 年設立。国際線 43 都市、国内線 50 都市に就航し、ボーイング 767 型貨物専用機 12 機を含む約 260 機の航空機を運航する日本最大の航空会社です。太平洋路線におけるユナイテッド航空との貨物共同事業や欧州線におけるルフトハンザ・カーゴとの共同事業を実施しています。

NCA とは

1978 年設立。1985 年に米国線の運航を開始して以来、本邦唯一の国際線貨物専門航空会社として 11 機の貨物専用機を運航しています。2012 年 7 月 25 日に、本邦航空会社として初めてボーイング社の最新鋭機 B747-8F 型機を受領し、高い燃料効率と優れた環境性能を最大限に活用し、定期便のみならず世界各地へのチャーター便の運航をおこなっています。

連絡先

ANA 広報部 TEL 03-6735-1110
NCA 総務部 TEL 0476-30-3946